

令和 8 年第 6 回
久御山町教育委員会定例会
議事録

令和8年 第6回久御山町教育委員会定例会 議事録

- 1 招集年月日 令和8年6月24日
- 2 招集の場所 久御山町役場2階 会議室23
- 3 開 会 令和8年6月24日 午後1時30分開会宣告
- 4 出席委員 内 田 智 子
寺 井 恵太郎
豊 田 美 幸
阿 部 拓 児
- 5 職務のため出席した者の職氏名
教 育 次 長 松 村 弘 毅
学校教育課長 西 村 一 平
学校教育課担当課長 宮 川 野添美
生涯学習応援課長 星 野 佳 史
学校教育課長補佐 白 石 拓 光
書 記 山 村 彩 子

- 6 付議案件
議案第18号 財産の取得について

- 7 報告案件
 - (1) 一般質問（6月会議）について
 - (2) 久御山学園夏季研修会について
 - (3) グランハット開館準備業務の進捗状況について
 - (4) 部活動の地域展開について

- 8 会議の経過
午後1時30分 開会

○内田教育長 ただいまから令和8年第6回久御山町教育委員会定例会を開催いたします。本日は田口委員の方が欠席と伺っております。本日の議事録署名人は、阿部委員でございます。また第4回および第5回定例会の議事録につきましては先日配布し、ご覧いただいたと存じます。第4回および第5回の定例会議事録について、よろしければご承認いただきたいと存じます。よろしいでしょうか。

○委員全員 はい。

○内田教育長 それでは次に報告についてでございます。まず5月28日に令和8年度のいきがい大学の開校式を開催いたしました。今年度は147名の受講生を迎えて、10の講座を開催いたします。また秋には管外に行くというようなことも予定しているところでございます。それから、5月29日に総合教育センターにて開催されました京都府町村教育長会議に出席をいたしました。ここでは、部活動の地域展開についての協議がされました。それから午後には京都府市町村教育委員会連合会定期総会が開催されまして、豊田委員が教育行政功労者教育委員表彰を受けられました。おめでとうございます。また、総会におきましては、全ての議事が承認されました。続いて6月9日、10日に3小学校合同で広島方面へ修学旅行へ行き、雨に降られることなく実施ができました。事後報告会なども行い、学びを深めている状況でございます。さらに、同じ週の10日から12日に、久御山中学校は沖縄への修学旅行を実施いたしました。これにつきましても台風や雨が心配されたんですけれども、あまり降られることなく活動ができました。小学校中学校とも大きな事故もなく無事終えることができました。それから17日に東角小学校の校区防災訓練に参加いたしました。地域の住民の方、小学生、高校生を含めた体験型の訓練がなされまして、目的意識を高くして取り組みを進められている様子が大変印象的でした。また、小学生と高校生が手を繋ぎ合って、いろいろ話しながら教えあっている様子が大変微笑ましく感じました。それから全小中学校にウォータースタンドの設置が完了いたしまして、水分補給として子どもたちが大変喜んでいるところでございます。以上、報告とさせていただきます。

それでは議事に移ります。議案第18号、財産の取得についてを議題といたします。事務局より説明を求めます。

○星野生涯学習応援課長 議案第18号、財産の取得についてのご説明をさせていただきます。財産の取得につきましては、令和9年3月7日の開館を予定をしておりますグランハットの音響関係備品を、大阪市中央区北久宝寺町3-3-4の三木楽器株式会社が713万9千円で取得をするというものでございます。取得備品の概要につきましては、議案書の2枚目に書いております。ピアノ1台、グランドピアノ運搬車1台、電子ピアノ1台、ピアノ専用椅子等々となっております。メインホール用の備品として取得しますこのピアノにつきましては、ヤマハ製でございます。ヤマハの中でも上位に位置するSシリーズのセミコンサートグランドピアノ、ヤマハS6Xとなります。なお、予定納期につきましては、令和9年2月26日までとなっております。今回の財産の取得について、契約方法につきましては指名競争入札としております。令和8年6月4日に入札を実施いたしまして、三木楽器が落札したわけですが、それ以外に、若林楽器店、十字屋等の全7社指名しまして、2社辞退されたため、5社での入札となっております。資料2ページ目には、参考までピアノのカタログの方をつけさせていただいております。以上、説明とさせていただきます。

○内田教育長 説明が終わりました。質疑はございませんでしょうか。

○豊田委員 ピアノはメインホールの方に1台で、他にピアノは置くのでしょうか。外国製のピアノの話も以前にちょっとありましたよね。

○星野生涯学習応援課長 今ご質問のグランドピアノは1台で、基本的にはホールでの使用とし、使用しないときは収納スペースの方に入れるんですけれども、イベント等で使わないときに部屋が空いてたりとかすると、そういうときには一般の人にも弾いてもらえるような、そんな機会にしたいなと思ってます。それ以外にはピアノは、電子ピアノしかないの、そちらは音楽ルームに設置をさせていただく予定です。外国製ピアノの話については、いわゆる三大メーカーについて、価格を比較し、検討したんですけれども、どうしても総額が決まっております、それを買ってしまうと他の備品がどうしても購入できなくなってしまう。

○豊田委員 最初にそういう話が上がってきた時に、そんなこと実現可能なのかなってというようなことは思ったんですけど。ヤマハで十分いいと思います。手入れするのにもいいし。

○星野生涯学習応援課長 事業者の方は、そんなピアノがあるんだったら弾きたいっていうお客さんの方も集めたいという思いもあったんですけれども。

○豊田委員 施設設備のものは、目新しさとかそういうものだけじゃない、実際に町民の人が本当に親しんでよく使って、そしてまた使えば古くもなるし、手入れもしなければいけないしっていう、そのメンテナンスの費用の高さとか、利用度とかそういうことが実際の本当の正味の売になればいいんであって、そんなにお金をかけてしなくてもいいんじゃないのかなって思ってたんで、それでいいと思います。

○内田教育長 アクティオからも、また議会からも、ストリートピアノ的に使えるときに、住民の皆さんが楽しく弾けるような、そういう場も与えていただいたらというようなことが出てますので、まず皆さんが触っていただけるようにしたいと思います。

他にございませんか。よろしいですか。それでは議案第18号を採決いたします。異議はございませんでしょうか。

○委員一同 はい。

○内田教育長 ないようですので議案第18号は可決いたしました。本日の議案は以上でございます。

【報告】

(1) 一般質問(6月会議)について(西村学校教育課長)

- ・ 6月16日火曜日、18日木曜日に一般質問があった。
- ・ 8名の議員が登壇されて、うち教育委員会の関係は主に3名の方。

①公益財団法人久御山町文化スポーツ事業団について

- ・ゆうホールがオープンした平成 11 年に「財団法人久御山町文化スポーツ事業団」に改組され、平成 25 年度から現行の組織となった経緯、指定管理者制度の運用について、指定管理者の候補者の選定事務について、文化スポーツ事業団の運営体制構築のための必要な人事であるという点について答弁した。

②学校施設等の教育環境等の整備について

- ・学校のグラウンド整備について、中学校体育館の空調の有効活用について答弁した。
- ・町長から、トイレの洋式化を進めていきたいと答弁した。

③公共施設等における樹木の管理について

- ・毎年の造園業者による樹木の維持管理について、引き続き適切な維持管理に努めることについて答弁した。

〔質疑等〕

○豊田委員

- ・校内だけでなく、通学路の樹木や雑草について、子どもの安全のため、通学路の見通しが悪いところだけでも、早めの剪定、除草をお願いしたい。

（２）久御山学園夏季研修会について（白石学校教育課長補佐）

- ・趣旨
 - ・園小中一貫教育の充実の為に、具体的な取組について共有し保育・教育活動に活かす。
 - ・言語力の育成について理論や概念を学ぶ。
- ・日時は、８月 21 日（金）午後 0 時 45 分から午後 4 時 45 分を予定している。
- ・第 1 部では、今井睦美先生によるオンライン講義で、言語力について認知心理学から学ぶ。
- ・第 2 部は、施設を超えた交流や気づき、繋がりを意識して話しをする機会を持ちたいと考えている。

〔質疑等〕

○内田教育長

- ・今井先生については、新しい学習指導要領を作る教育課程部会にも参加されており、今後の学習指導要領に影響を与えられる先生である。勉強になるお話を聞かせていただけたと思うので、ぜひ皆様もご参加をよろしくお願いしたい。

○豊田委員

- ・オンラインで受講できるのか。

○白石学校教育課長補佐

- ・ ZOOM から視聴が可能。

（３） グランハット開館準備業務の進捗状況について（星野生涯学習応援課長）

・ 令和 7 年度の主な実施業務としては、各種関係会議の開催と、「ミニくみ」という取り組みを毎年バージョンアップしながら実施している。令和 7 年度は、独自通貨を作ったり、銀行ブースや、働いた後の対価をもらうときに税金納めたりする工夫をしながら、町の仕組みを遊びの中に入れていくようなことをしている。子どもスタッフ 22 名に対して、参加者 40 人が参加した。

・ 開館後の事業の柱として予定している「地域学」のプレ事業として、令和 7 年度は「ドボクのチカラ再発見ツアー」を実施し、17 名が参加した。

・ 今後の主要スケジュールとしては、9 月会議に上程し、施設設置条例の制定と指定管理者の指定をする。10 月にはホールの仮予約を開始する。12 月には工事業者より引き渡しを受ける予定。

・ その後、開館準備業務を委託しているアクティオにより、備品の据付や職員の研修などを行う予定。

・ 開館は 3 月 7 日日曜日を予定しており、午前に竣工式記念式典、記念コンサートを開催予定。記念式典には、まちづくりセンターの愛称である「グランハット」と「わくわくホール」の名称をつけた方も招待をさせていただく予定。

・ 午後には、施設内外を会場とした各種イベントを実施予定。

・ 3 月中はイベント強化月間として、大きな事業をやっていききたい。

・ 広報活動については、運営評価委員会の中でも SNS の活用がまだ足りてないのでは、という意見もあるので、インスタグラムの配信などももっと積極的にやっていきたい。あわせて、役場に懸垂幕を掲げることも考えている。

・ 諸室名称の方が決まった。メインホールは 2 つに分かれており、下の方が「わくわくホール」で、これは固定席の方の大ホールになる。一体的に使う場合は、「多目的ホール」という部分も客席として使える。調理設備と絵画や習字などの創作活動ができるような部屋は「クリエイティブルーム」とした。「ブックラウンジ」は、広いスペースになっており、利用者が自由に利用できる椅子やテーブルを設置して、本を自由に読んでいただけるスペースとなる。畳敷きの部屋については、「和みルーム」とした。ここでは茶道での利用も想定している。専門家からもアドバイスをいただきながら、レイアウトや設備などの整備を進めている。その他会議室の方は「ルーム」というよう名前にしている。これは、いろいろな目的で使用いただけるということで、目的を特定しないような呼び名にしている。「音楽スタジオ」や未就園児をお連れの方に利用していただく「プレイルーム」、それから今地域福祉センターで行われている療育教室の活動場所として「にこにこルーム」という名前をつけた。

〔質疑等〕 特になし

（４）部活動の地域展開について（星野生涯学習応援課長）

- ・ 中学校の部活動については、学校教育の一環として行われ、生徒がスポーツや文化芸術活動に親しむ機会を確保するとともに、生徒が自主的主体的な参加を通じて、責任感や生徒同士の連帯感を養うなど、多様な学びの場として大変有意義な活動と考えている。
- ・ しかし、少子化が進む中で、これまでと同じ学校単位での運営が難しくなってきており、今後生徒が希望通りのスポーツや文化芸術活動に取り組めなくなることが危惧されている。
- ・ 教師の専門性や意向に関わらず顧問を務めなければならないという体制や長時間勤務が生じるといった課題も指摘がある。
- ・ これらの課題の解決に向け、これまで学校単位で運営してきた学校部活動を地域全体で関係する方が連携して支える仕組みに展開することを目指している。
- ・ 地域展開にあたっての主な仕組みとしては、専門指導員を配置する方法と地域クラブへ移行する方法がある。
- ・ 専門指導員の配置については、教員に代わり、地域の人材や指導を希望する競技のプロが部活動の指導を行う仕組みとなる。
- ・ 地域クラブへの移行については、地域のスポーツクラブや民間団体を活動の受け皿とする仕組みである。
- ・ 国が示す工程としては、令和８年度から１０年度の３年間を、改革実行期間の前期として、休日における部活動の地域展開に着手する期間と定められている。
- ・ 次に令和１１年度から１３年度を改革実行期間後期として、この期間を目途に、休日は原則全ての部活動で地域展開を実施した上で、平日に関しても更なる改革を進めていくと定められている。
- ・ 本町のスケジュールは、６月に部活動地域展開に関する準備会を設置している。中学校長と、スポーツ協会の会長、事務局には生涯学習応援課と学校教育課の両方が入っている。７月には検討会議を立ち上げ、定期的を開催をしていく予定。メンバーは中学校長と部活担当の教員、スポーツ協会会長、スポーツ関係団体の方、学校運営協議会の方、久御山高校の部活動の担当教員、事務局として生涯学習応援課と学校教育課である。
- ・ 部活動の地域展開に関するアンケートの実施や実施団体・実施方法等について様々検討の場としていく予定。
- ・ ９月にはあり方を取りまとめ、地域展開を試行的に実施する部活を決定して、令和９年度から試行的な実施を始めていく。
- ・ 令和１０年度からは、その結果を踏まえて本実施の予定。

〔質疑等〕

○阿部委員

・これまでも部活動指導員や支援員として、部活動の手伝いに来ていただける方を募っていた仕組みはあったが、今後は完全に地域移行したいということか。

○内田教育長

・部活動指導員については、教員は必ずついてないといけなかったが、そうではなく、おまかせするような形になる。ガイドラインを作り、認定した方にお願いをしていくというような形になる。

・京都市では、今年からスポーツジムや企業にお願いをしていくようである。大きな市町では、そういう形で地域移行されていることが多い。ただ、町の希望であったり、地域にスポーツ少年団などいろいろな団体があるという中で、できるだけ久御山中学校の部活動の母体というのは大事にしながら、生徒や教職員のアンケートの結果も受けながら、持続可能で一番適した方法を編み出していかなければいけないと思っている。

○阿部委員

・地域移行のモデルケースはあるのか。

○内田教育長

・先進事例はたくさんあり、いろいろな方法があるが、本町は小規模自治体として、いかに効率的に子どもたちの意欲を削がないような形でできるかを検討してきたが、本格的に動いていく時期になった。

○寺井委員

・焦ることはなくて、ゆっくりでいいと思う。教員の中にも、生徒を教えたい、部活動を教えたいという思いで先生になった方もいるはず。焦らず、いろいろな意見を聞きながら、ゆっくりと進んでもらいたい。

○豊田委員

・日本の学校の良さは、勉強だけを教えるわけではないところ。人格的にも教師が日本の学校の誇るべき要素だと思う。もちろん専門じゃないスポーツを持つ先生には苦労があると思うし、負担となつてはいけませんが、生徒とさまざまな意味で関わるという場でもあるわけだから、今までのあり方も含め、いろいろなあり方を模索して欲しい。

・せっかく近い距離、行き来できる距離に高校があるので、久御山高校と合同での部活動も考えてみてほしい。高校にしかない部活もあるので、お互いのいいところをお互いに助け合ってやるみたい、この久御山町だからできるやり方が絶対あると思うので、検討して欲しい。

○星野生涯学習応援課長

・久御山高校からもそのような話をもらっているので、検討したい。

○阿部委員

・仕組みが2つあるが、これはどちらかに全部ということか。例えば、剣道部は専門指導員の配置で、サッカー部は地域クラブ移行というような方法はとれるのか。

○星野生涯学習応援課長

・一様にはできないと思う。指導員の確保という面が一番難しいので、多様な形になると思う。

午後2時27分 終了